

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1. 開 会 【事務局】

2. あいさつ 子育て支援課長兼児童館長 西山 健吾

3. 会長あいさつ 会長 黒田 睦美

4. 議 事

① 令和6年度事業報告について【事務局：資料2ページから10ページを説明】

② 令和7年度事業計画について【事務局：資料11ページ、12ページを説明】

【運営委員】10月4日(土)にチャレンジ教室(おもしろ科学教室③)を予定していますが、氷上地域の小学校は一斉に運動会の開催予定になります。他の地域の小学校についても同日開催となる可能性もあり、事業の参加者が少なくなってしまうかもしれませんのでご配慮ください。

【事務局】分かりました。別日での開催を検討します。

【運営委員】児童館として、来館者数や事業の参加者数は、行政なので数字を求められるため重要な事項であると理解しますが、チャレンジ教室等の児童館事業では、参加者一人ひとりの満足感や達成感等、人数だけでは測れない側面を大事にしてほしい。

【事務局】分かりました。

【事務局】チャレンジ教室事業について、現状は年度当初の事前申込制となっていますが、年度途中から事業に参加したいという子ども達の希望を叶えるために、途中参加を可能とした方が良いのではないのでしょうか。

【運営委員】講師目線では、参加人数が予め固まっている方が、教材の準備等の都合で事業は進めやすいと思います。しかし、年度途中で事業に関心を持って既に申込みが終了しているため、残念な思いをする子もいると思うので、途中参加は裾野が広がってよいと思います。別の案として、新規の参加希望者を対象とした「お試しチャレンジ教室」を開催しても良いと思います。

【事務局】分かりました。検討します。

【運営委員】 18 歳以上の来館者はどのような人ですか。

【児童厚生員】 主に未就学児の保護者になります。

【運営委員】 来館者は中央小学校の児童が多いですか。

【児童厚生員】 通常授業のある平日午後の来館者は、中央小学校の児童が大半です。土曜日や長期休業期間中には、中央小学校区以外からも保護者に車で送迎されて来館する児童もいます。

【運営委員】 6月～8月の来館者が増加傾向にあると伺いました。外気温が高くなることに加え、アフタースクールに入所していない児童が、自宅以外に空調の効いた屋内で過ごせる場所が限定されることが要因だと思います。そういう意味では、社会福祉施設の隣保館との連携や一時預かり事業の拡充等、市が一体となった子どもの居場所作りをしていただきたい。

③ その他

【事務局】 令和7年4月に組織改組を予定しており、児童館運営事業は「福祉部こども福祉課」が主管となります。

5. 閉会